

# 古津軽さんぽMAP 田舎館村

## 弥生時代の遺跡から田んぼアートまで どこまでいっても米づくし

### 史跡垂柳遺跡

垂柳遺跡は、1981年に国道102号バイパス化工事の試掘調査で水田跡が発見された、約2100年前の弥生時代中期後半の遺跡です。ここで水田跡が発見されるまでは「東北地方北部に弥生時代はなかった」と言われていました。

しかし、その後の発掘調査により656面の水田跡が発見され、東北地方北部にも弥生時代が存在していたことを証明し、考古学史や農業史を書き換えるほどの大発見でした。

### 田んぼアート

7色の異なる種類の稲を絵具代わりに、田んぼをキャンパスに見立てて巨大な絵を描く田んぼアート。1993年から活動を続けてきた田舎館村は、「田んぼアート発祥の村」と呼ばれています。すべて稲で作られている田んぼアートは、6月上旬に田植えをし、7月中旬から8月中旬に鮮やかな7色に変わり見頃となります。そして秋には黄金色となり収穫を迎えます。

会場は2ヶ所あり、第1会場は「田舎館村役場」、第2会場は「道の駅いなかだて弥生の里」です。

### 防火水槽の目印

半分の長さのドラム缶が重し。



マンホール  
村内のマンホールには田舎館式土器が描かれている。

### 田舎館駅

外観は古い駅舎だけど中に入るとアーティストGOMAさんのアートがいっぱい！

### 神明宮



「ごま塩」洗い出し模様の鳥居が目印。神明宮の一角に八幡宮もあるのは珍しい。

### 弘前鉄道沿線景

青森らしい赤いリンゴのガードレール

### 産地直売センター

J A女性部手作り味噌の「味噌ソフトクリーム」食べてみて。キャラメル味もたいだよ。



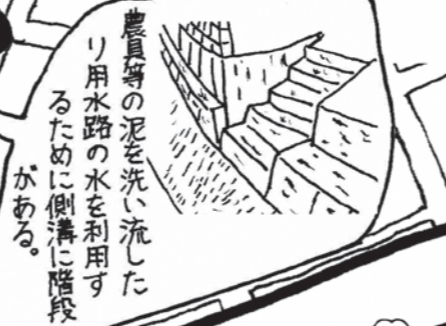
レストランジヤイゴ  
田舎館式土器の器で食べる「土器カレー」。



こはんは、古代米と白米のハーフ&ハーフ。カツが乗ってホリユミー。

### 動いている水車

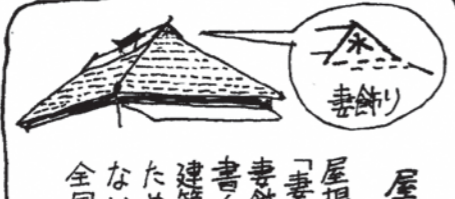
を見たらラッキー☆



農具等の泥を洗い流したり用水路の水を利用するために側溝に階段がある。

### 屋根に「水」

屋根の三角の部分を「妻飾り」といいます。妻飾りに「水」と書くのは、木造建築を火災から守るため火除けのまじないとしてつけられ、全国で見られる。



### チャワンダー

弘前市出身のペイントアーティストMAJIOさんが製作した、お茶碗型ミニユメントが屋外展示されている。岩木山をこはんに見立てて写真を撮ろう。

### 土器の親柱

この陸橋の下に発掘された垂柳遺跡が眠っている。



何が書いてあるのか  
解読せよ！  
(答えは下)



絶対的な自信!?  
絶対に錆びない  
味の実力 田舎館米

### JRAウイングス津軽

「田舎館村埋蔵文化財センター」史跡垂柳遺跡に関する展示がされています。



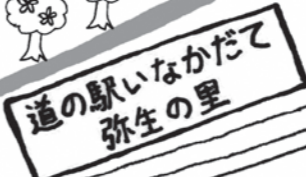
弥生人の足跡が残っているよ。



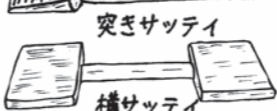
弥生時代の田んぼの上を歩けるよ。

マンホールや土器カレの器に使われている土器が展示されているよ。

伸びしろありまくりの藤棚



茅葺屋根の屋根ふきで使われる道具「サツテイ」



開館：9時～17時  
定休日：月曜日  
※祝日の場合は翌日  
入館料：300円

### 田んぼアート駅

2016年に開催された「冬の田んぼアート2017 MAJIO presents ライスレーションプロジェクト」で、弘前市出身のペイントアーティストMAJIOさんがペイントした、カラフルな外観の駅舎。

弥生の里展望所  
田んぼアートを観望するための展望台。

風が強い土地なのでいつも風あけしている

### 垂柳遺跡の碑

弥生体験田  
約1坪の弥生時代の田んぼを復元した体験田でお米作りができる。



### 遊稲の館

館内の「いろいろばた喫茶」で食べられる古代米おはぎが人気。



国道268号

国道102号

※：津軽の中央部田舎館村の垂柳遺跡から弥生時代のものとして日本最北の水田跡が発見されました。このことは日本の農業史にとって、画期的なことで、田舎館村の先人がいかに「稲」と関わりをもってきたかを示す貴重な証であります。